



## 春を探しに校外へ ～生徒がいないひそやかな学校周辺～

新型コロナ対応として前期入試前日の2月7日(月)は、東信の高校では生徒は家庭学習の日です。そこで私は、生徒がいない静かな学校の周りを散策してみました。空は澄み青空が広がる良い天気の後です。立春を過ぎたといえ風は冷たく氷点下の気温(マイナス2度)で、まだまだ周囲は冬の景色でしたが、確実に春の訪れが近づいています。そんな春の息吹をお届けします。



凜とそびえる浅間山



遠くにかすむ蓼科山



日差しだけは春めいて



可憐なオオイヌノフグリ



寒さを耐えるタンポポ



ボケのツボミも膨らむ

## もうすぐ卒業、3年生 ～ガランとなった教室で～

3年生は1月末に期末考査が終わり、2月2日(火)から自宅研修期間に入りました。日頃にぎやかな声が聞こえた教室もご覧のとおりひっそり。閑散とした教室に一抹の寂しさを覚えて、巣立ちを見送る感傷的な気持ちになりました。ところが隣の教室に入ると、机にかじりつき必死に課題に取り組む3年生の姿が。感傷的な気分が一気に吹き飛びました。頑張れ! はばたけ!



### 困ったお話(その58) (息子は兄弟?)

今日は次男の誕生日だ。ラインでお祝いのメッセージを送った。今は成人となった息子とは幼いころ、こんな会話をしたことを思い出し、懐かしくもふつふつと腹が立った。

息子『ボクはほいくえん、お兄ちゃんはちゅうがく、お父さんはこうこうにいてるけど、コワイ先生はいる?』

私『いるよ。K先生と言って、いつも怒っている先生がいるんだ。』

息子『その先生におこられたら、お父さん泣いちゃう?』

私『ん?』

なんか変だと思いよく訊いてみると衝撃的な事実が。次男は〔お母さん=保護者、お父さん=高校生、お兄ちゃん=中学生〕と信じていた。しかもお父さんはお遊戯をしに行ってると思っている。子は親の背中を見て育つというが、そう見えていたか。困っていたら、追い打ちをかけられた。

妻『そう、お父さんはK先生に怒られて泣いたのよ。遊んでばっかで。』



コワイK先生(節分バージョン)